

【学校教育目標】

新木更津プラン  
「自立する力」と「共生する姿勢」を身につけた児童生徒の育成  
一家庭・地域社会から信頼され、魅力ある学校づくり

地域を愛し 進んで学ぶ  
心豊かに 健やかなる児童の育成

ちばっ子「学力向上」  
総合プラン(学びの未来づくり ダブルアクション+ ONE)  
I 自ら課題を持ち 多様な人々と協働し 粘り強くやりぬく子  
II 子供と社会の変化を捉え 自律的に学ぶ姿勢を持ち 授業を工夫する教員

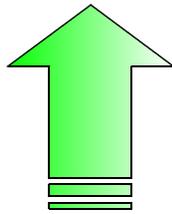
～「行きたい(児童)」「通わせたい(保護者)」「働きたい(職員)」学校～

経営の基本方針

- ① 成功体験や肯定的な言葉掛け(共感的理解)を重視し、子どもが通いたくなる学校(学級)を目指す。  
(居心地のよい学校づくり、自己肯定感の育成、子供と共に進んで活動する教職員、長欠児童への支援)
- ② 各自が課題意識を持ち、OJT(校内研含む)を充実させ 教職員の資質力量の向上に努める。  
(ベテラン層の指導技術の継承、ミドル層のリーダー養成(「GTM」)、若年層研修の充実)
- ③ 組織『チーム八幡台』で動き、PRDCAサイクルを生かし、日々、より良い教育活動を目指す。  
(全職員で課題・改善点の共有、同僚性を高める、学年体制の充実、働き方改革の推進「S Ha T」)
- ④ 家庭・地域との連携を進め、信頼される学校づくりに努める。  
(親身な対応、安心・安全な環境づくりと事故防止『重大事故ゼロ』、サービスの厳正、小事への気配り)

めざす学校像

- ① 毎日通いたくなる学校
- ② 気持ちのよい挨拶・歌声の響く学校
- ③ 安心・安全できれいな学校
- ④ 保護者・地域の信頼に応える学校
- ⑤ 働きがい・やりがいのある学校



めざす教職員像「師弟同行」

- ① 健康で、明るい教職員
- ② 児童をやる気にさせる教職員
- ③ 磨き合い、成長し続ける教職員
- ④ 組織で動き、協働する教職員
- ⑤ サービスの厳正、不祥事ゼロ、業務改善

めざす児童像

かしこい子

- ☆ じっくり聞き、自分の考えを発表できる子
- ☆ 自ら学び、考え、課題を追求し解決する子
- ☆ 共に学び合い、高め合い、認め合う子
- ☆ 進んで家庭学習、読書に取り組む子

やさしい子

- ☆ 自分から挨拶のできる子
- ☆ 人の気持ち(痛み)がわかる子(いじめゼロ)
- ☆ 感謝の気持ちを持ち、人のために努力を惜しまない子
- ☆ 清掃を一生懸命やる子
- ☆ ルールやマナーを守る子

たくましい子

- ☆ 健康・安全を意識し、生活できる子(自分の命は自分で守る)
- ☆ 運動を楽しみ、進んで体を鍛える子(体力と耐力の向上)
- ☆ 苦手なものにも挑戦し、粘り強く取り組む子

◎ 共感的理解と肯定的な言葉掛けを重視した教育実践を通して

「かしこい子」のための方策

- ① 『学習意欲の向上』『基礎・基本の定着』を目指した授業改善を図る
  - ・ 校内授業研究会の充実
  - ・ 全職員の授業公開(一人年1回)
  - ・ ベテラン層の指導技術の継承
  - ・ できた喜びを味わわせる授業改善
  - ・ ICT機器を活用した授業の推進
  - ・ 学習規律の習慣化
  - ※ 県学力検査で県平均を上回る(70%以上)
- ② 生徒指導の機能を生かした学級経営と授業づくりを進める
  - ・ 自己有用感、自己決定の場
  - ・ 共感的な人間関係づくり
- ③ 特別支援教育の充実を図る
  - ・ 通常学級における効果的な支援
  - ・ 校内支援委員会・ケース会議
- ④ 家庭学習の習慣化を図る
  - ・ 宿題から自主的学習へ
  - ※ ほぼ毎日実施(90%以上)
  - ・ タブレットの持ち帰り
  - ・ AIドリルの活用
- ⑤ 読書活動の充実を図る
  - ※ 年間30冊以上(90%以上)

「やさしい子」のための方策

- ① 温かく安心な学級づくりに努める
  - ・ 共感的理解と肯定的な言葉かけ
  - ・ 学級レク集の活用と改善
  - ・ 心の健康点検(毎月10日)
  - ※ 困った時相談できる先生がいる(80%以上)
  - ※ 学校に来たくないことがある(40%以内)
- ② 道徳教育の充実を図る
  - ・ 道徳推進委員会の充実
  - ・ 授業参観での授業公開
  - ・ 県道徳教育教材等の活用
- ③ 豊かな人間関係づくりに努める
  - ・ 学年行事・全校集会の充実
  - ・ 異年齢学年交流や地域との交流
- ④ 奉仕的活動の充実を図る
  - ・ 清掃に一生懸命(無言清掃)
  - ・ 係、委員会活動の充実
  - ・ キッズボランティア活動の推進
- ⑤ 基本的生活習慣の定着を図る
  - ・ 「挨拶」「ありがとう(感謝)」の奨励
  - ・ 凡事徹底(ルールを守る)
  - ・ 市心の教育「三つの心」の推奨
  - ※ 学級の満足度(90%以上)

「たくましい子」のための方策

- ① 正課時体育の充実を図る
  - ・ 柔軟・瞬発力・持久力の向上
  - ・ 運動特性・魅力を生かした授業
  - ※ 体力テスト(県平均を40%以上の種目で上回る)
  - ※ 運動能力証合格率(40%以上)
- ② 進んで運動する環境づくり
  - ・ ふれあいタイム(15分)の充実
  - ・ 外遊びの奨励
- ③ 健康教育・環境教育・食育の推進
  - ・ 「早寝早起き朝ご飯」の推奨
  - ・ SDGsの推進
  - ・ 食育の推進(栄養教諭との連携)
  - 各学級(年1回以上実施)
  - ・ 学校保健委員会の実施
  - ・ 感染症への啓発と防止策の徹底
- ④ 安全への意識を高める『重大事故ゼロ』
  - ・ 交通安全指導の強化
  - ・ 効果的な避難訓練の実施
  - ・ 学校安全指導マニュアルの見直し
  - ・ 安全な環境作りと適切な指導
  - ・ 地域防災組織との連携

～ トライアングル(家庭、地域社会、学校・行政)子育て運動の推進 ～

- ① PTA活動との連携(奉仕活動、交通安全指導)
- ② 家庭との連携
  - ・ 小学生らしい生活リズム作り(早寝早起き朝ご飯の習慣作りやテレビ・ゲーム・スマホ等に関する家庭での約束作り)
  - ・ 家庭学習・読書のすすめ(家庭学習の手引き配布、家庭学習ノートの点検、読書ボランティア)
- ③ 地域・関係団体との連携(地域福祉協議会、公民館、学校支援ボランティア、まなび支援センター、地域自治会、敬老会等)
  - ・ 交通安全・不審者・防災対策(登下校の安全見守り活動、子ども110番の家の充実、警察との連携)

